

# しがらい 志賀来ふ

しがらい  
×  
らいふ

vol.●

2019年4月15日  
志賀来地区  
ふるさと交流実行委員会

発行部数：452部

ふるさと志賀来の今とこれからの暮らしのススメ



写真撮影：加藤 茂



春が、  
咲き始めました。

皆様には「ふるさと交流事業」にご支援ご協力を頂き誠にありがとうございました。おかげさまで、「志賀来ふ」7号を皆様にお届けすることができました。「届くのが楽しみ」など嬉しいご感想を頂いております。ふるさとと皆様を繋ぐひとつの役割を果たせているのではないかと感じております。

これまでの「志賀来ふ」の発行を通じて、地域の宝ものを再発見できたり、ふるさとを離れて活躍されている皆様の思いを知ることができたりと、貴重な情報が蓄積されてきたなと感じております。この財産を地域の発展に生かしていくにはどうしたらいいのか、一度、小さな交流会的なものでもいいので催してみることもいいのではないかなどと考えております。ご意見を頂ければと思いますので、よろしく願います。



志賀来地区ふるさと交流事業  
実行委員会  
会長 内記 和彦

# 特集

# 志賀来昔ばなし 太田の八幡宮様

## 太田の八幡宮

太田の八幡宮は、寛治元年、一〇四八年に創建と、「沢内年代史」に記載されていた。宮司の三又さんに八幡宮のお話をお聞



きしたいと取材を試みたところ、この文献に書かれていることが全てと、「沢内風土記」「沢内の民話」「沢内年代記」の貴重な三冊を貸して頂いたのだ。

それによれば、平安時代の中期、近江から来た重覚院という修験者によつて、初めてこの八幡宮が太田に建てられたといわれているそう。身近な場所と思っていたこの八幡宮には、実に千年もの歴史があることになる。

今、ここに建つ社殿は拝殿で、八幡宮の御本殿は、ここから2キロ程登った山の中腹に建立されている。昔、人々が参拝に行くのに山を登るのが困難に思い、現在の山のふもとに遙拝殿を建てたのである。



## 八幡宮の大銀杏

大銀杏は、社殿の少し手前に立っている。町の天然記念物に指定されており、高さ28メートル、幹回り7メートル、樹齢は約一千年にも及ぶ。

「沢内の民話」によると、重覚院が八幡宮を創建し、八幡大神様が完成なされた時に、お持ちになられた銀杏の鞭を刺したもので

根づいたものであるという説と、八幡太郎義家が秋田から越えてきた時、銀杏の枝を杖にしてきて、逆さに押し植えたとして逆さ銀杏と云われるようになったという説がある。

一番有名な言い伝えは、この銀杏と天候を結びつけたものだ。秋に紅葉し、葉が全部落ちてから21日目に根雪が降ると伝えられ、また、葉の色付き方で翌年の天候が予想される。農家の人たちの重要な参考資料になっていた。

銀杏の葉が落ちる時は、ひと朝のうちに、すごい音をたてて散るそう。よく色づき、一瞬に散ると翌年の気候は、順調で豊作とのこと。軽トラック5、6台分もの葉の量になるという。

## 地域の守り神

この木の幹には、「乳瘤（ちちこぶ）」というものが垂れ下がっており、寒い地方には余り多く見られない珍しいものと云われている。

細枝に乳房をかたどった紅白の袋が奉納されている。昔、母乳の出ない母親がこの銀杏に願掛けをしたら、母乳が出るようになったという言い伝えに由来するものだ。医者のない時代から地域の人々に寄り添ってきた、不思議な

御神木である。

銀杏には、雄株と雌株があるという。この木はギンナンの実がならないので雄株と思われる。まさに雄大という言葉があてはまる。

取材した時はまだ冬だった為、あいにく葉は全て枯れ落ちてしまっていたが、春になって、若葉が芽吹く新緑の季節と、秋の紅葉の季節の大銀杏の姿をぜひ見て欲しい。神々しい姿に圧倒され、たくさんのパワーがもらえる事だろう。



## 三又 義詔さん

【太田在住】

八幡宮の神主で、地域の神事には欠かせない存在。今回は貴重な文献を貸していただいた。



志賀来の  
伝統芸能

前郷

# 坂本神楽



## 世界にはたくさん、ふるさとの郷土芸能 原動力の秘密は… 3時間の酒飲み談義？

志賀来の伝統芸能の保護ために  
活躍する人たちを紹介します。  
「坂本神楽団」のご紹介です。

会長

高橋秀一 さん



皆さん、こんにちは。私たちは坂本神楽団と申します。坂本神楽団は、沢内の前郷地区に江戸時代末期から伝わる郷土芸能である、「坂本神楽」（西和賀町指定無形民俗文化財）を保存・伝承している団体です。地域在住の30代〜60代の団員約20名が所属しており、毎年、地元の氏神様である坂本神社の例祭に神楽を奉納している他、町の芸術文化祭をはじめとした各種イベント等への出演、地域のお祝いの席に招かれての公演を行ったりしております。

一方で、平成7年のオーストリア・ザルツブルグで開催された「ヨーロッパ・ジャパンウィーク」への参加、

平成9年の韓国・ソウル市訪問、平成19年にはロシア「ウラジオストク・ビエンナーレ」に出演するなど、海外の舞台を踏んだ経験も有しています。

あくまでも郷土芸能の継承が目的ではありますが、30分の練習の後の3時間の酒飲み談義が最も大切なことだということが、私たちの長年の活動から得られた経験則です。これが地域づくりのエネルギーにつながっていますし、端的に言えば地域づくりそのものであると考え思っています。この姿勢を貫きながら、今後も地域づくりに邁進していくつもりです。

志賀来の  
若いチカラ

志賀来に住んで頑張る  
若手の様子をお届けします。

石川 あゆみさん  
(32)

【大野在住】



## 火防の意識高き、SSの看板娘

私は西和賀町大野に生まれ、新町保育所、沢内第一小学校、沢内中学校、西和賀高校を卒業後、湯本の旅館に1年勤めた後、現在の太田のJASSで働き始めました。今年でもう13年になります。

地域では、消防団の部長に誘われ入隊して2年目になります。私のほかにも、年齢の近い女性隊員が2名います。

火防点検への参加をしています。他はまだ何もわからず、準備の手伝いくらいしかできていません。ですが先輩団員の手の良さや操法の素晴らしさに感動し、私も見習えたらと常々思っていますし、高齢者世帯での声かけの様子に、地域の温かさや活動の大切さをひしひしと感じています。

日常生活では、たまに友人と湯本に食事（飲み）にでかけるほかは、自宅でゆつくりと過ごすことが多いです。

自分の将来を考えると、だれにも優しい温かいこの地域の一員としてずっと過ごしていきたいと思っています。

### 取材担当より：

私の職場の同僚にも「あー、あの綺麗な人！」と言われるほどの美人さん！仕事中的様子も拝見していましたが、お客さんにもとっても親切に対応されていました。これからも輝いてください！



# 志賀来の 人

志賀来で頑張る人にお話を聞きます。

## 高橋 康文さん (65)

【新町在住】

昭和 29 年生まれ。

趣味は自然観察と山菜取り。きのこのスペシャリスト。お母さん、奥さん、山形で暮らす大学生の娘さん 2 人の 5 人家族。



## 新町から盛岡へ通う 介護と山のスペシャリスト

康文さんは、盛岡市黒川にある介護施設、(株)シマ「ほたるの里」で生活相影員・介護職員をしている。新町からは 1 時間半位で、じつに 70 km もの距離を毎日通う。

何かあると困るから、少し余裕を持って朝 6 時には家を出る。冬の雪が降る時期は朝 4 時に起きて、雪払いをしてから仕事に向う。出勤前に 1 時間、帰宅後も 1 時間、計 2 時間は雪払いをしているが、雪は嫌いではない。毎日の運動だと思つてやつており、きつちりときれいにやるのが好きで、雪払い後の雪の造形を楽しんでさえいるのだとか。

康文さんのお姉さんが、曾祖母の名前「シマ」の名前をとり、介護施設を立ち上げたことをきっかけに、現在の職場に移つたのだそう。利用者さんとの会話が楽しく、自分にも合っていると思うし達成感もあると、活き活きと語る。

盛岡への通勤のメリットとしては、ラジオからの情報で色々な事を学ぶことが出来たこと。2 人の娘さんとの親子の貴重な会話の時間となったこと。父と娘の関係での会話

は、どの家庭でも少ないものだが、通勤ついでに盛岡駅→自宅までの送迎の時間がイコール親子の時間となつていた。

好奇心旺盛な康文さん。好きなことは、山菜採り、きのこ採り。全てお父さんから教えられたのだと、目を輝かせながら言う。

とにかく山が大好きで、普通の人とは、絶対に行けないような深い深い山の中に行くという。雪が無いときは、4 月から 11 月までずーっと山に行くという。コゴミから始まつてユキノシタ（天然のエノキダケ）まで。ぜんまい、わらび、舞茸などは、おこづかい程度のお金にもなるという。香茸などは、知り合いに送ると、りんごやエゾシカの肉などの、お返しをもらつたり、その他いろんなお返しが戻つて来るといふ。舞茸は、大阪の有名シエフに送ることも。みんなに喜ばれているのが窺える。

山菜やきのこで悩んだら、康文さんに聞くのが一番と、ご近所のお墨付きが得られるほどの知識がある。みなさんも悩んだ時は、食べる前に康文さんに相談してみてもいい。

## 地域のお店

(有) イズミヤ

【新町在住】

泉 増子さん



## 毎日笑顔があることがやりがい… エネルギーな女社長が切り盛りするGS

増子さんは沢内、下の沢出身。昭和53年に新町に嫁ぎ、平成5年に昭和シェルの看板を掲げる店「沢内サービスステーション」として有限会社を設立し、現在にいたる。スタッフは、男性2人。自分含め3人で経営を切り盛りしている。増子さんいわく、「とにかくうちのスタッフは働き者!」。女社長である増子さんを支えてくれる、縁の下の力持ち的存在で、日々、助けられているという。

人との関わりが楽しい、毎日笑顔があることがやりがいと語る増子さん。取材時もひっきりなしにお客さんが来店し、その度に忙しく走り回り、きびきびと仕事をこなしていた。忙しくしているのが自分に合っている、じっとしてられない性分なのだと言った。

趣味は?との問いに、「山菜採り」「山登り」「釣り」と、アクティブなアウトドアのものばかり。なんだか納得してしまった。山菜はなんでも好きで、採ってきた山菜は1人では食べきれないので、近所におすそ分けをするそうだ。そうするとお返しに畑の野菜たちをいただくそうで、

今の世間では希薄になってしまった、ご近所さんとの繋がりが垣間見えた。

山登りも、ちょっとした時間ができれば、別に目的はなくても登るとのこと。現在、百名山を30山も登破しており、あと70山と意気込む!釣りは海も川も。ホッケ、はたはた、わかさぎと、狙う魚も幅広い。釣った魚もご近所におすそ分け。とにかく忙しく、毎日仕事に、休みは趣味にと、オンオフの時間を徹底して使い分け、使い切る人なのだ。

地元で愛され、なくてはならない存在のイズミヤ。これからも健康に気をつけて、趣味に仕事に、頑張ってください。



- ・ 営業時間  
AM6:30  
～ PM7:00
- ・ 定休日  
日曜日
- ・ 取扱内容  
ガソリンスタンド、  
LP ガス販売

## 懐かしの校歌 ～沢内第一小学校～



一. 山なみ深く豊かなる  
幸いあれとこの里を  
ひらきし祖先のほこりあり  
心うけて我ら今  
努めはげまん  
沢内第一小学校

二. はるけき空に志賀来は  
岩根もかたくそそり立ち  
あおぎて高き望みあり  
心おおしく我ら今  
努めはげまん  
沢内第一小学校

三. しずくを集めよどみなく  
流れ一すじ和賀の川  
大海原へ続くなり  
心たゆまず我ら今  
努めはげまん  
沢内第一小学校

## 志賀来ふの感想紹介

- ◆ 私はまだ、働いています。マンションの管理人をしてからは、今年で21年目です。色々な人達と出会いと別れ、話をして…人生は本当に色々ですね！ふるさとの皆さんの頑張りに勇気づけられます。私も、もう少し頑張ります。

(匿名希望)

## 懐かしい卒業写真



昭和  
44年



平成  
18年



本情報誌は、地域の出身者や所縁<sup>ゆかり</sup>のある方にお送りしています。まだ届いてない方がおりましたら、ご住所をお知らせください。バックナンバー含め、お送りいたします！